

【大阪府公共事業における】景観アドバイス対応報告シート

記入日	2024/11/15			
記入者	所属	モノレール建設事務所		
	担当者名	辰上	連絡先（内線）	06-4306-3162
事業名称	大阪モノレール延伸事業 松生町駅（仮称）			
景観アドバイザー会議の実施状況	実施の有無	あり	第1回	2023/6/12
	第2回	2023/12/4	第3回	2024/11/19

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応	
駅下部の空間	第2回アドバイザー会議での意見		
		対応状況	対応済み
	外から室外機が見える等の景観上気になる要素がたくさん出てくると思うので、それらを落とし込んで検討してほしい。	<p>外壁面や天井面に室外機や配管をなるべく露出させず、すっきりした空間となるよう心掛けた。</p> <p>駐輪場が整備された場合の見え方について再確認したが、ポンプ室やゴミ置場は陰に隠れてしまい、賑わいに繋がるスポットにはなりづらいと考えられるため、空間に馴染むものとなるよう、シンプルにホワイト系で明るい印象となるものにするように考えた。</p> <p>サイン計画については、助言内容を門真市及び大阪モノレール株式会社にも共有し、検討・対応をお願いしたところ。</p>	
	モノレール下の駐輪場は天井が高く、怖さや暗さを感じにくい。感じが良いことが一番大切であるため、ポンプ室等も一緒に考えてほしい。		
	駅下のポンプ室とゴミ置場の色をどうするのか検討しているが、コンセプトの緑や松ぼっくりという考え方よりも、トータルでデザインされるとよい。		
公共が管理する駐輪場ではサインが多くなるケースもあるが、美しい風景をつくるためよく考えてほしい。			
全体の空間	コンセプトは良いが、駅周辺の建物や今後建設される建物などに影響を与えられることが景観の本質だと思うので、公共が作る景観の提案として計画してほしい。	対応状況	対応済み
	土木構造物全体でスタイリッシュさや清潔感もしくは商業施設に付随するので少しポップなイメージであったりと、様々なアイデアがあると思うが、高架構造物は大きくて印象的であるため、どんな印象を与えるかを考えてほしい。	<p>今回整理したコンセプトにおける「芽吹き」や「賑わい」が将来にも引き継がれるよう、大阪モノレール株式会社に内部整備にあたっての対応をしてもらうこととなった。</p>	
	ホットなスポットはどこになるのかなども抑えた上で、最後にもう一度景観づくりを確認してほしい。		